

中田かわら版 4月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所
横浜市踊場地域ケアプラザ

3年ぶり「ねこまつり」開催

腹話術で「猫伝説」、屋上庭園で焼き芋ふるまう

踊場地域ケアプラザで

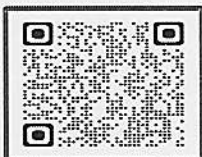
「にゃん・にゃん・にゃん」で猫の日の2月22日、踊場地域ケアプラザと近くの飲食店「NAPALM (ナパーム)」などが協力して、地下鉄「踊場駅」周辺で3年ぶりに「おどりばねこまつり」が開かれた。夜ごと猫たちが踊っていたという「猫伝説」を楽しい腹話術で紹介したり、ケアプラザの屋上庭園で焼いた焼き芋を振る舞ったりしたほか、募集した猫の写真などを掲示。参加者は用意された猫の耳や尻尾をつけて「仮装」するなどしながら、コロナ禍で中断していた地域のまつりの復活を楽しんだ。

ケアプラザには「泉の郷保育園なかだ」の園児や近所の小学生らが集まり、戸塚区で保護猫活動をする傍ら腹話術の普及に取り組んでいる渡邊勉さん(72)が猫の人形との会話で笑いを誘いながら「猫伝説」を解説すると、子どもたちは大喜び。実際に人形を抱いて腹話術の体験も楽しんだ。屋上庭園での焼き芋は社会福祉協議会のメンバーらが薪ストーブでサツマイモを焼いた。



この「ねこまつり」を広く知ってもらおうと、泉区の見どころや飲食店などをインターネット動画で紹介する「あやめ日報」を発信しているマサさんが来て撮影し、ユーチューブに映像編集してくれました。ユーチューブが見えるQRコードを掲載したので、スマホをかざして映像をぜひご覧ください。

また今回、事前に東京新聞(2月19日付)で大きな記事で取り上げてくれたり、タウンニュースの記者が取材して記事を掲載する(3月9日付)など、マスメディアの話題としても注目されました。これもウェブの記事があるので読んでみてください。QRコードからどうぞ。(鈴木賀津彦)



タウンニュース



YouTube

■中田にこんなお店がある

江戸前のこだわり「吉美寿司」

店に入ると磨き抜かれた真っ白なカウンターが真っ先に目に飛び込んでくる。

朱塗りの前板に盛られた握り寿司は、1ミリと違わぬ高さに並べられて和食の美を彷彿とさせる。まさに職人のなせる業である。あまりの美しさに写真を撮り写メールで友人に送る若い女性もいる。



店の名は「吉美寿司」、中田に店を出したのが昭和41年、長後街道に面したこの場所に移ってから50年近くにもなる「中田の老舗」である。

ファミリーレストランの台頭で日本食離れが進み、中田に数軒あったお寿司屋さんも店を閉じたが吉美寿司はこの難局を乗り切ってきた。

その秘訣は、ご亭主が握り、奥さんがお茶を出し、息子さんが出前をする家族経営にある。

ご亭主はこの道60余年、時代は変わっても江戸前すしの味と伝統を守る寿司屋として決して妥協しない職人氣質な男であるが、若い人にはシャリを多く、お年寄りには少なくする細かい気配りも心得ており、心を込めた一貫にはにぎり職人の手のぬくもりが伝わる。

奥さんは常に控えめではあるが、ご亭主の握りにタイミングを合わせてお吸い物を用意するなどご夫婦の呼吸はピッタリ、ときには季節の移ろいを感じる小付けのサービスもある。

この家族的な雰囲気、お店の人とお客様とのふれあいを生む。ご亭主も奥さんも「聞き上手」で世間話からちょっとした悩みごとまで話を合わせてくれる人情のお寿司屋さんである。

気がつけば、かつて分区される前の戸塚区に90軒ほどあったお店も、この形態での寿司屋さんは今では泉区でたった1軒になっていた。これもお客さんあってのもののご夫婦で口を揃える。特に一日おきに5時起きして東京・豊洲市場まで行って仕入れてくるこだわりのネタは絶品で遠くからのお客さんも多く、中には親子三代にわたるなじみ客もいる。



江戸前の寿司屋の特徴であった「よき時代」がそのまま残っており、今ではあまりみられなくなった握り職人の顔を見ながら、ネタの入ったガラスケースを覗き込んで新鮮なお好みをチョイスできる中田には貴重な店である。(田中)

・定休日：毎週水曜日 ・営業時間：11:00~14:00 17:00~21:00

編集後記

毎年4月から5月にかけて、街路樹に綺麗なツツジとさつきが所狭しと咲く。どちらが先に咲くのか気になり調べてみた。桜のあとにひと枝に2~3個の花をつけるのがツツジ、5月の連休の頃ひと枝に4~6個の小さい花をつけるのがさつき。なるほど、だからさつき(五月)なんだと納得。

今年も楽しみたい。S.松本

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本正

編集委員；山木重樹、小島敏子、田中進、河内満明、松本純子、佐々木弘美、鈴木賀津彦、嶋 宏之

おどいば新聞

ケアプラザ



4月号

発行 横浜市踊場地域ケアプラザ
住所 横浜市泉区中田東1-4-6
電話 801-2920
FAX 801-2923

2023年度横浜市介護予防普及啓発強化事業
すこやか音楽クラス 踊場地域ケアプラザ共催

今なら間に合う！元気になる！

フレイル予防講座

※フレイル（虚弱）とは、気づかないうちに心身の機能や活力が低下し、生活に支障が出たり、要介護状態、死亡などの危険が高くなった状態のことをいいます

【講座の特徴と内容】

- ♪ フレイルの状態をチェック
- ♪ フレイル予防のコツを伝授
運動・栄養・口腔・認知症予防
- ♪ 音楽の力でココロもリフレッシュ



講師：音楽療法士
運動指導士
管理栄養士 他

全6回

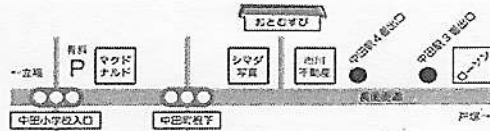
(5/11、18、6/8、15、7/13、20)

第2、3 木曜日 13:30～15:00

【会場】

音楽スペース おとむすび
横浜市泉区中田東3-2-13

♪ 音楽スペースおとむすびは地域で音楽を通して人と人をつなげる様々な活動をしている拠点です♪

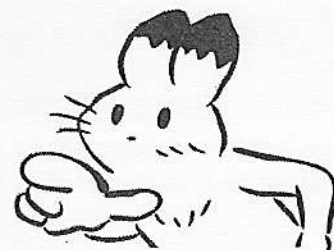


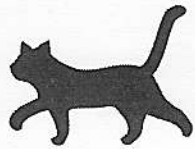
中田駅4番出口から徒歩すぐです

先着12名

参加無料！

申し込みは4/18（火）9:30から
踊場地域ケアプラザ
801-2922まで





閉館時間の変更について



4月1日より閉館時間が変わります。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、平日及び土曜日の夜間利用が無い場合、18時に閉館をしておりましたが、4月1日より基本21時閉館に戻ります。但し、月に数日夜間利用がない場合に限り18時閉館となる場合がございます。詳しくは中田しらゆり情報サイトでご確認ください。

子育て応援スペース「ペンギンテラス」

踊場地域ケアプラザにて令和5年5月から新たな事業
子育て応援スペース「ペンギンテラス」が始まります。
初回は5月13日(土)です ※初回のみ第2土曜



日 時 毎月第3土曜日 10:00~11:00

踊場地域ケアプラザ3階ボランティアコーナー

受付場所 入口に担当者がおります

当日の流れ 10:00~お子さんと少し離れて、毎月楽しい企画

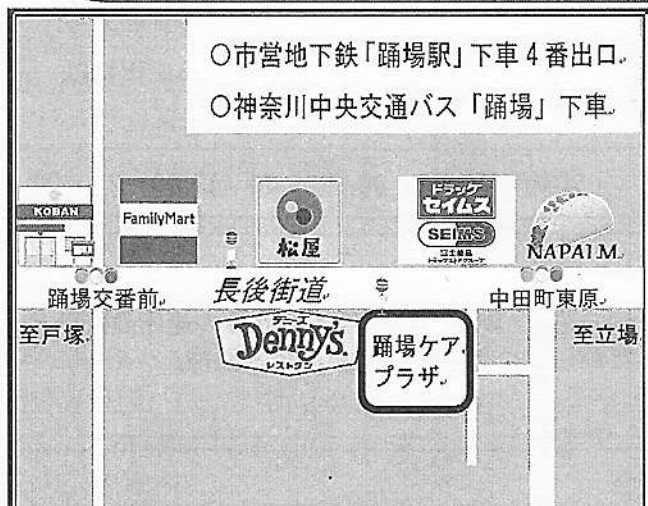
10:30~フリータイム・お話し

10:55~ボランティアさんによる絵本読み聞かせ

☆参加費・事前の申し込みは不要です。当日お越しください。

☆新しいお友達作りを目指してます。個人でのご参加お待ちしております。

お問合せ: 踊場地域ケアプラザ 地域交流 045-801-2114



踊場地域ケアプラザでは毎月第1月曜日が清掃日となります。3階各部屋の利用ならびに予約はできません。デイサービスと相談事業は通常通り営業しております。

ご意見・お問合せは

電話 801-2920 (代表)
801-2922 (地域包括)
801-2114 (地域交流)
FAX 801-2923
Eメール shima@odoriba-cp.jp
担当 嶋(しま)までお願いします

“あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として、文化的生活を営めるよう、その自立に向けた支援に努める”
踊場地域ケアプラザは(福)神奈川県匡済会が運営しています。http://www.kyosaikai.jp/ ブログもあります

本紙を折る作業は地域ボランティアさんとゆたかカレッジ戸塚校の皆さんにご協力いただいております

中田コミュニティハウスだより

2023年 4月号

休館日 5/1

中田コミュニティハウス
横浜市泉区中田南4-4-28
TEL 802-2244
FAX 802-4960



令和5年3月発行

「発明クラブがやってくる」 ～見て考え体験しよう～

4月23日(日)10:00～12:00

小学生対象 25名

お子さんと一緒に保護者の参加も大歓迎です

参加費 小学生1名につき100円

☆お持ち帰り工作あります



4月11日 受付開始

5月開催の自主事業

申し込み・4月11日～

電話か窓口へ

家でもできるやさしいヨガ

【日時】 5月10日(水)13:30～14:30

【定員】 先着10名

はじめよう! 楽しい折り紙

【日時】 5月11日(木)13:30～14:30

【定員】 先着15名

図書 特集コーナー

「本に誘われ録倉散策」

～録倉が舞台の本を並べてみました～

【一般】

- ・荒地の家族
 - ・この世の喜びよ
 - ・爆弾
 - ・#真相をお話しします
 - ・一駅一話 江ノ電沿線歴史さんぽ
 - ・〈あの絵〉のまえて
 - ・無人島のふたり 120日以上生きなくちゃ日記
 - ・玉村警部補の巡礼
 - ・お鳥見女房
 - ・新卒で“給食のおばさん”になりました
～女の園は敵だらけ～
他
- 佐藤厚志
井戸川射子
呉勝浩
結城真一郎
泉秀樹
原田マハ
山本文緒
海堂尊
諸田玲子
松山ルミ

新着図書

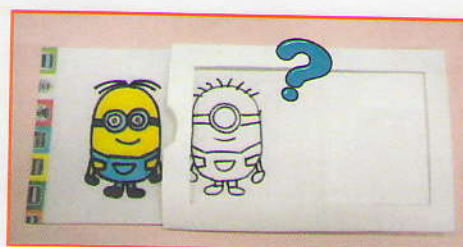
【児童書】

- ・さくらもちのさくらこさん
- ・たぶんみんなは知らないこと
- ・10分で読めるわくわく科学 小学1.2年
- ・ギンガのおにたいじ【ももたろうより】
- ・トーマス大図鑑
- ・それいけ! アンパンマン ブックヒーローズ①
アンパンマンとみんなのえがお
- ・それいけ! アンパンマン ブックヒーローズ②
カレーパンマンとフランケンロボくん

4月のこども工作

色がついたり消えたりふしぎな

マジックカード



中田コミュニティハウスQRコード



立場地区センターだより

令和5年4月

★休館日：4月10日、5月8日(月)

《立場地区センター》

〒245-0012

横浜市泉区中田北1-9-14

TEL.045-801-5201

FAX.045-805-1954



◆横浜市立場地区センターは、「和の会」(理事長 佐藤 慎)が指定管理者として管理・運営しています◆

★ マスクの着用は基本的に個人の判断に委ねられています。

★ 基本的感染対策は変わりません。「3密を回避」

「ほかの人との距離の確保」(2m) 「手洗い等の手指消毒」 「換気」

※ご協力をよろしくお願いいたします。

★ 次の場合は厚労省がマスク着用を推奨しています。

- ①ほかの人と2m以上の距離がとれない場合
- ②ほかの人と距離はとれるが、会話を行う場合
- ③高齢者など重症化リスクの高い人と接する場合

★【赤ちゃん教室】

4月は
お休みです

除菌用
アルコール
お使いください。



ご協力をお願いします!!

★【子育て相談】

毎週木曜日

10:00 (プレイルーム)

★ 行政書士無料相談

(神奈川県行政書士会戸塚支部)

4月8日(土) 9:30~11:30

★ お茶を楽しむ会 (泉区茶道会)

4月8日(土) 裏千家:瀧瀬宗晴

10:00~15:00 300円



★ 絵本だいすき! 読み聞かせ

(お話し会MAY)

4月27日(木) 11:00~11:40



★ おもちゃの病院 (おもちゃドクターグループ)

5月20日(土) 10:00~15:00

予約受付 4月12日~

★ 中高年のための

「スニーカーで始めるフラメンコ」

5月11日~7月27日(木) (全6回)

第2・4木曜日 13:00~14:30

【人数・参加費】先着8人 4,800円

【講師】座間味紀子さん

【申込み】4月11日~電話か窓口へ

参加費と共に

★ 親子で!トミック(前期5回)

5月16日~9月19日(第3火曜日)

9:30~10:30

幼児期に、音楽や動きを通して様々な能力を伸ばしましょう。

【対象】2020年4月~2022年3月生まれの

幼児と保護者 抽選25組

【参加費】500円(5回分)

【申込み】往復はがきで 5月1日必着

【記載事項】行事名、住所・TEL、参加親子の氏名、子の生年月日・ふりがな



TOSHIKI USUI

碓井俊樹

ピアノリサイタル

～YAMAHA CFXお披露目コンサート～

テアトルフォンテは2023年9月に開館30周年を迎えます。
このたび、ホールのグランドピアノが新しくYAMAHA CFXに
変わります。ピアノを選んでくださったのは、国内外で活躍する
ピアニスト碓井俊樹さん。アンバーサリーイヤーにふさわしい
ピアノリサイタルをぜひご堪能ください。

Program

ショパン ノクターン第2番 作品9-2
「子犬のワルツ」

アザラシヴィリ ノクターン
無言歌

ベートーヴェン ピアノソナタ第14番
「月光」 作品27-2

ほか

※曲目は予告なく変更になる場合がございます

2023.5/13

土

開演 14:00 <13:30開場>
テアトルフォンテホール

チケット ¥1,500(一般)/¥1,000(学生) チケット発売 4/11火 10:00より ※発売初日に限り受付窓口・WEBは10:00より販売
電話予約は14:00から受け付けます

チケット
購入方法 [窓口] テアトルフォンテに直接ご来館いただき、現金でお支払いください。
[電話] お電話でご予約後、予約された日を含めて8日以内に受付窓口で現金でお支払い後チケットを受け取ってください。
[Web] Webでご予約後ファミリーマートに設置してある『マルチコピー機』で、ご予約時の引換票番号(4で始まる13桁の数字)を入力後、
発券してレジでお支払いください。※お申込みには会員登録が必要です(無料)※発券手数料が別途かかります

主催・
お問い合わせ

横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ
〒245-0023横浜市泉区泉中央南五丁目4番13号 (指定管理者:相鉄企業株式会社)
TEL:045-805-4000 FAX:045-805-4100 メールアドレス:fonte-info@sk-ims.com



Toshiki Usui

碓井俊樹

Profile

東京藝術大学附属音楽高等学校及び同大学を経て、ザルツブルク・モーツァルテウム芸術大学で研鑽を積む。ヴィオッティ国際音楽コンクール入賞、オランダミュージックセッションにてドネムス演奏賞（現代音楽最優秀演奏賞）、ウィーン現代前衛芸術団体TAMAMUより現代芸術特別賞、カントゥ国際音楽コンクール優勝など数多くの受賞歴を誇り、各国の国際音楽祭出演を通じて世界的な演奏家と数多く共演。

国内外のオーケストラのソリスト、国際音楽コンクールの審査も務め、ウィーンを拠点に40か国以上にて演奏活動を行ってきた。一般社団法人横浜シンフォニエッタ代表理事及びゼネラルマネージャー、一般社団法人近江シンフォニエッタゼネラルマネージャー、日本香港音楽協会理事長（香港）

2017年度外務大臣表彰を受賞、2019年ジョージア共和国シグナギ市名誉市民を受賞、兵庫県豊岡市“おんぶの祭典”音楽監督、第3回種田山頭火賞受賞、元尚美学園大学・大学院客員准教授、元上野学園大学客員教授。

碓井俊樹ピアノリサイタル ～YAMAHA CFXお披露目コンサート～

2023年5月13日(土)14時開演 (約120分休憩あり)

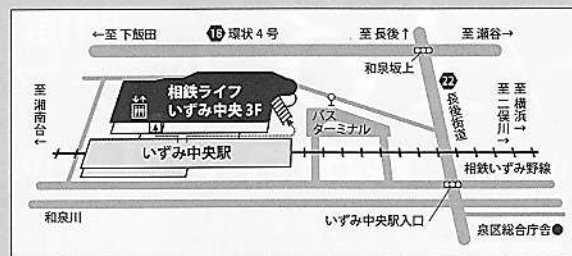
チケット料金 ¥1,500(一般)/¥1,000(学生)/全席指定 チケット発売日 4/11(火) 10:00より ※発売初日に限り受付窓口・WEBは10:00より販売。電話予約は14:00から受け付けます。

チケット購入方法
 [窓口] テアトルフォンテに直接ご来館いただき、現金でお支払いください。
 [電話] お電話でご予約後、予約された日を含めて8日以内に受付窓口で現金でお支払い後チケットを受け取ってください。
 [Web] Webでご予約後ファミリーマートに設置してある『マルチコピー機』で、ご予約時の引換票番号(4で始まる13桁の数字)を入力後、発券してレジでお支払いください。※お申込みには会員登録が必要です(無料)※発券手数料が別途かかります

- 感染対策について
- ・マスクの着用は個人の判断に委ねます。
 - ・咳、咽頭痛、下痢、風邪の症状がないこと。
 - ・37.5度以上の発熱がないこと。
 - ・現在、新型コロナウイルス陽性判定を受けていない、または医師に自宅待機指示を受けていないこと。
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がないこと。
 - ・来館時に手指消毒をお願いします。こまめな手洗い、咳エチケットへのご協力をお願いします。

横浜市泉区民文化センター
テアトルフォンテ
 (指定管理者: 相鉄企業株式会社)

〒245-0023
 神奈川県横浜市泉区和泉中央南五丁目4番13号
 TEL 045-805-4000 FAX 045-805-4100
 メールアドレス fonte-info@sk-ims.com
 公式サイト <https://www.theatrefonte.com/>



テアトルフォンテの情報をチェック!是非登録をお願いします!



●アクセス

【電車】

- 相鉄いずみ野線「いずみ中央駅」下車1分
 - ▶「横浜駅」から約30分
 - ▶「湘南台駅」から約5分

【バス】

- 神奈中バス「泉区総合庁舎前」下車3分
 - ▶「戸塚バスセンター」から約25分
 - ▶「長後駅」から約10分
 - ▶「立場ターミナル」から約5分

【車】

当館専用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

【開館時間】 9:00~22:00(受付窓口は21:00まで)

【休館日】 毎月第3火曜日(祝日の場合は開館し翌日が休館です)
 年末年始(12/29~1/3)

◆個人情報の取扱いについて お客様よりご提供いただきました情報は、当施設の利用に関する事以外には使用いたしません。開示等の請求は、下記の個人情報お問い合わせ先までお願いいたします。
 【個人情報お問い合わせ先】 指定管理者代表団体:相鉄企業株式会社 個人情報保護管理責任者(総務部担当役員) 045-319-2361

One Coin

ワンコイン
コンサート#7

Concert

—ワンコインで上質な音楽をお届けします—

弦楽四重奏を愉しむ 新緑の午後のひととき

サムカルテット



Violin
菊池 有希子



Violin
小林 貴子



Viola
古屋 孝訓



Cello
河村 治

2023.5/17 水

テアトルフォンテホール

開演 14:00 開場 13:30 (約60分休憩なし)

チケット 4/15 土 10:00より

※発売初日に限り10:00より販売(窓口販売のみ)
※予定枚数に達した場合、当日券はありません。

チケット
¥500
全席自由

Program

ヨハン・パッヘルベル カノン
J.Sバッハ G線上のアリア
Sound of Musicメドレー
君の瞳に恋してる
他

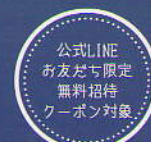
※曲目は変更になる場合があります

主催・
お問い合わせ

横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ

〒245-0023横浜市泉区和泉中央南五丁目4番13号 (指定管理者:相鉄企業株式会社)

TEL:045-805-4000 FAX:045-805-4100 メールアドレス:fonte-info@sk-ims.com



One Coin Concert

ワンコインコンサート#7



Profile

サムカルテット

菊池有希子(バイオリン)、小林貴子(バイオリン)、古屋孝訓(ヴィオラ)、河村治(チェロ)の弦楽四重奏団「サムカルテット」は、オーケストラやアンサンブルはもちろん、様々なアーティストのサポート、コンサートツアー、レコーディング、CM音楽制作等で活躍するメンバーが集結し、クラシックから馴染みのポピュラーソングまで楽しくお届けいたします。



Violin
菊池 有希子



Violin
小林 貴子



Viola
古屋 孝訓



Cello
河村 治

チケット ¥500 4月15日(土)10時より販売開始

注意事項

- ・発売初日のみ10時より販売致します。
- ・窓口販売のみ、電話予約は承れません。
- ・全席自由です。チケットの整理番号は入場の順番に関係ございません。
- ・チケットの購入枚数制限はありません。
- ・公演当日は、13:00ロビー開場、13:30ホール開場、14:00開演です。
※13:00以前はお並びいただけません
- ・公演当日までにチケット販売予定枚数に達した場合、当日券の販売はありません。
- ・本公演が中止または延期となった場合に限り、チケットの払い戻しをいたします。
※お客様都合でキャンセルされた場合は、払い戻しできません。



※4/15(土)より有効
※受付窓口でLINEクーポン画面をご提示ください
※枚数限定のため無くなり次第終了

感染対策について

- ・マスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・咳、咽頭痛、下痢、風邪の症状がないこと。
- ・37.5度以上の発熱がないこと。
- ・現在、新型コロナウイルス陽性判定を受けていない、または医師に自宅待機指示を受けていないこと。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がないこと。
- ・来館時に手指消毒をお願いします。こまめな手洗い、咳エチケットへのご協力をお願いします。



横浜市泉区民文化センター

テアトルフォンテ

(指定管理者:相鉄企業株式会社)

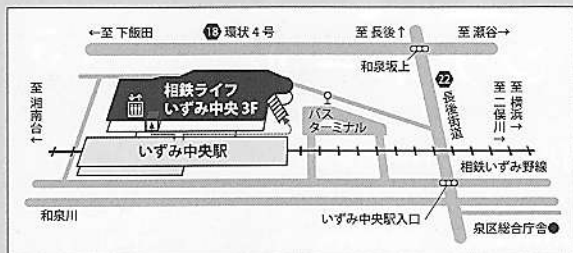
〒245-0023

神奈川県横浜市泉区和泉中央南五丁目4番13号

TEL 045-805-4000 FAX 045-805-4100

メールアドレス fonte-info@sk-ims.com

公式サイト <https://www.theatrefonte.com/>



テアトルフォンテの情報をチェック!是非登録お願いします!



●アクセス

【電車】

- 相鉄いずみ野線「いずみ中央駅」下車1分
- ▶「横浜駅」から約30分
- ▶「湘南台駅」から約5分

【バス】

- 神奈中バス「泉区総合庁舎前」下車3分
- ▶「戸塚バスセンター」から約25分
- ▶「長後駅」から約10分
- ▶「立場ターミナル」から約5分

【車】

当館専用の駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

【開館時間】 9:00~22:00(受付窓口は21:00まで)

【休館日】 毎月第3火曜日(祝日の場合は開館し翌日が休館です)

年末年始(12/29~1/3)

◆個人情報の取扱いについて お客様よりご提供いただきました情報は、当施設の利用に関する事以外には使用いたしません。開示等の請求は、下記の個人情報お問い合わせ先までお願いいたします。
【個人情報お問い合わせ先】 指定管理者代表団体:相鉄企業株式会社 個人情報保護管理責任者(総務部担当役員) 045-319-2361



中田中だより

令和5年3月号

横浜市泉区中田北二丁目20番1号

電話 803-3771 FAX805-4698

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nakada/>

(3月24日発行)

横浜市内中田中学校

校長 飯塚 哲聡

和をもって尊しとなす

学校長 飯塚 哲聡

2月末に鳴き始めたウグイスですが、今はすっかり上手にさえずるようになり、毎日の練習、継続が大切だと、改めて感じさせてくれます。

足掛け4年の長きにわたるコロナ禍もようやく終わりを迎えます。この間、学校教育においてさまざまな変革が行われました。時代の変化とともに教育現場の進化、真価が大きく問われているところですが、中田中学校が今後も平和で、居心地の良い学校であることを願うばかりです。

3月8日の卒業式では次のような話をしました。

卒業の後は、折々の友達との語らいや記念の品との出会いにつけて、中田中時代に発揮した見事な実績、懐かしい思い出の数々が、それぞれの心のポケットから取り出され、そしてまた大切にしまい込まれていくことでしょう。この3年間の歩みを大きな自信としてください。もう皆さんに語る機会はありません。ここで二つを注文しておきたいと思います。一つは、温室の外の厳しさに負けない強さを持つことです。皆さんの多くは、幼児期から小・中学校時代を中田の恵まれた環境に育ち、家庭では無論のこと、地域や学校でも大事に可愛がられ、いわゆる温室育ちではなかったか。皆さんの真価が問われるのはまさにこれからの生き方です。日本を取り巻く国際情勢もますます厳しさを増していくようです。心も体も逞しく鍛え、来たるべき次代の担い手となっていただきたいと思います。もう一つは物のあわれを知る人になってほしいということです。勉学において、高い点数、良い成績をとる努力は大切ですが、それしか考えない人にはなってほしくない。一輪の花を愛で、葉を渡る風に物のあわれを感じる心、科学技術万能の時代だからこそ、人間が持つ美しい感性を磨いていただきたい。是非とも頑張ってください。

在校生に寄せる思いも同じで、来年度、創立50周年を迎える中で多くの思い出とともに、より一層飛躍する皆さんの姿が楽しみです。そこでどういようですが、学校生活で大切にしてほしい「三つのS」について改めて書いておきます。一つ目は「Study=学習」のS。人生100年時代と言われるますが、学ぼうとする人の気持ちに年齢は関係ありません。何歳になろうと人は一生学び続け成長します。その基本を中学生活でしっかり身につけてください。二つ目のSは「Safety=安全」です。様々なルールをしっかりと守ること。究極的には皆さんの命を守ることに繋がりますし、同時に周りの人の安全を守ることに繋がります。「思いやり」の心を持つことと、「想像力」を高めて、すべての人が安全、安心に過ごせるように努力してください。最後のSは「Self-Control=自律、自分を律すること」。中田中学校ではこの「自主・自律」を教育課程全体で育成をしようとしています。この三つのS、「Study」「Safety」「Self-control」を忘れず、しっかりと自分の道を進んでいってください。

コロナ禍を経た現在、より一層強い想いとなって浮かんでくる私の思いを、今一度掲載させていただきます。

「学校教育について一貫する思いは、学校という組織をめぐる様々な関係で「人の和」を大切にし、結局「北風より太陽」が勝ったように、教育の根本が愛情と信頼にあることを忘れず、長い人生を逞しく生き抜くための基礎を固める中学生時代に、しっかり「セルフコントロール」できる力を身につけさせたい、ということです。あとは、健康と意欲さえあれば、それぞれに価値ある将来が開かれていくものと信じております。」 今後も中田中学校に幸あれ！！

【1年 職業講話】

キャリア教育の一環で、2月2日に職業講話が行われました。各業界のプロフェッショナルに来ていただき、貴重な話を聞くことができました。この経験が、職業体験、進路につながっていきます。

トリマー



看護師



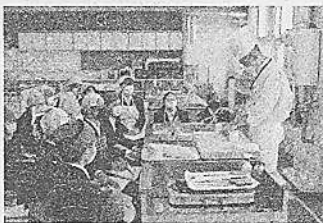
建築業



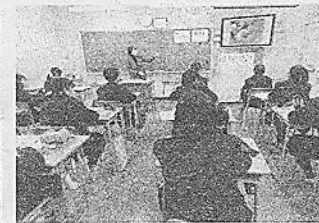
消防士



調理師



保育士



理容師

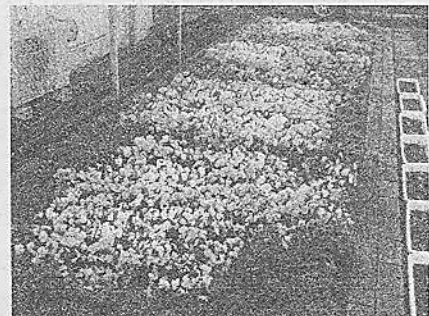


接客業



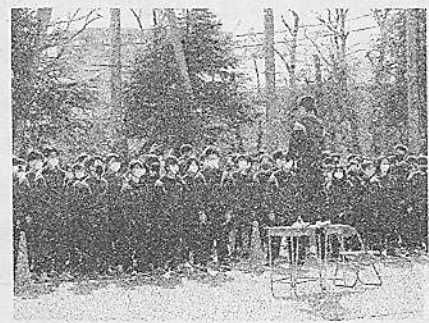
【花いっぱい運動】

3月1日に美化委員会による「花いっぱい運動」が行われました。当日はPTAの方にも手伝っていただきました。来年度の創立50周年記念を盛り上げるデザインになっています。



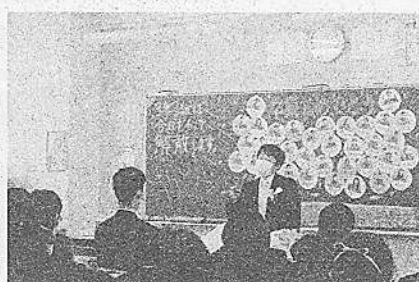
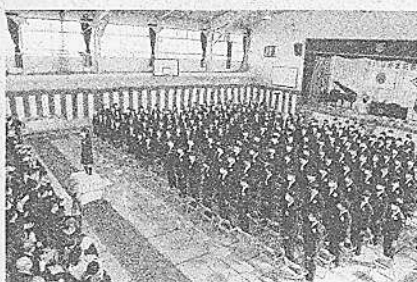
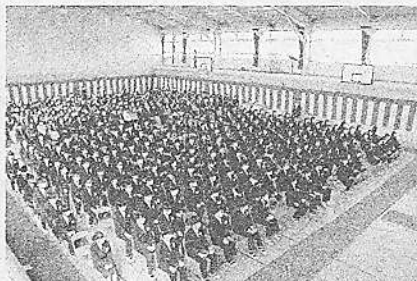
【3年生を送る会】

晴天に恵まれた3月6日、「3年生を送る会」が体育館・グラントで行われました。1、2年生が3年生に喜んでもらおうと内容を考えました。最後は、グラントで感謝の気持ちを込めて「旅立ちの日に」を合唱しました。



【第50回卒業証書授与式】

令和5年3月8日に、222名の3年生たちが中田中学校を卒業していきました。新たな一歩を踏み出す門出の日は、よく晴れて青空も祝福しているようでした。



～卒業生別れの言葉～

梅の花が咲き誇り、暖かな日差しに春の訪れを感じられるようになりました。

本日、この良き日に私たち222名は卒業の日を迎えました。

この三年間を振り返ると、思い出がまるで昨日のこのように鮮明に蘇ってきます。

三年前、コロナウィルスが流行し、世界中が不安に包まれました。そんな中、私たちはこの体育館で入学式を迎えました。重たく、着慣れない制服で、担任の先生に先導されて入場したことを思い出します。

入学式の後から二か月の間は、休校となってしまいました。それは前例がなく、気が滅入るような毎日でした。休校明けの分散登校では、前半と後半に分かれてはいましたが、少しずつ新しい仲間と打ち解け合うことができました。そんな中、中止となった足柄校外学習の代わりに、最初の行事である境川遠足が行われました。地図とチェックポイントだけを頼りに、ゴールの遊水地を目指しました。しかし、迷ってしまう班も多く、仲間と励まし合いながら進んでいきました。コロナ禍で暗くなっていた私たちにとって良い思い出です。

一年生のときの文化発表会の合唱は曲が決まり、歌の練習が始まった頃に中止になりました。結局、合唱ができたのは三年生だけでした。合唱の代わりに実行委員が考えてくれた折り鶴アートを行いました。

一年生の秋からは、生徒会の活動に挑戦しました。人前に立って話す時、私はいつも緊張で声が震えていました。そんな時、先輩の堂々とした振る舞いを見て、「私もいつかこんな風になりたい。」と強く感じたことをよく覚えています。生徒会の活動を通して、理想の自分とは何かを考えさせられたような気がします。そして、その答えが私を生徒会長へと導き、そして、今、卒業生代表として皆さんの前に私を立ててくれました。

二年生になり、新しい仲間と過ごすことに慣れてきた頃に、先生や学級委員が企画してくれた江の島遠足に行きました。境川遠足よりも長い約8kmを歩き、江の島に着くだけでもみんなヘトヘトでした。

年が明けてからは、緊急事態宣言が緩和されて鎌倉へ遠足に行くことができました。私にとって鎌倉遠足の実行委員長として初めて学年の代表となり、活動する機会でした。クラスでは修学旅行の練習として

班別自主行動をするためのコース決めを行いました。当日、計画通りに動くことは難しかったですが、良い練習となりました。

そして、私たちは三年生になりました。最上級生として相応しい行動、後輩のお手本になることが求められました。私は生徒会長として学校全体の活動まで引っ張っていく立場となりました。瞬時に物事を判断し、仕事を割り振ることや決断することが出来ず、困ってしまうこともありました。そんな時は先生にアドバイスをもらって実践しました。自分たちの力で考えて、行動するという良い経験になりました。生徒会での活動は、貴重な体験をたくさんさせていただいた、中学校生活の中でも特に、印象に残る思い出です。

私たちは三年ぶりに修学旅行に行くことが出来ました。コース決めでは、鎌倉遠足の反省を活かし、班のみんなの意見を聞きながらも円滑に決定することが出来ました。足柄校外学習を体験していない私たちにとって、この修学旅行は中学校生活、最初で最後の宿泊をする機会でした。クラスの仲間と一日中一緒にいることで、新しく見ることが出来た一面も多くあると思います。二泊三日で特に思い出に残っていることは、一日目の奈良での班別自主行動です。公園に当たり前のようにいる鹿にはとても驚きました。また、京都に向かう電車では、予定の時間よりも遅くなってしまいました。間違えて大阪まで行こうとしていたことは、今では良い思い出です。この修学旅行には、数えきれないほどたくさんの思い出が詰まっていると思います。

体育大会は二日間での開催となりました。一日目はクラス別で得点を競い合い、二日目はダンス発表会を行いました。三年生の演技は、最初に男子、次に女子、最後に学年全員で踊りました。練習する期間が短く、授業の回数も少ない中で、踊り子のみんなが一生懸命に教えている姿を見て、学年の空気感が変わっていったように思います。本番ではみんな三年間の集大成として楽しそうに踊っていたのが印象に残っています。黄色学年らしい、元気さを出した演技が出来たと思います。

文化発表会は、遂に、合唱コンクールを開催できるようになりました。私のクラスでは、声の大きさが上手く揃わず、不安な気持ちになりました。全学年が初めての合唱という課題にチャレンジすることになりました。どのクラスも他のパートと合わせるのにとっても苦戦していました。そんな中、指揮者と伴奏者、パートリーダーや文化発表会実行委員の指示を頼りに練習を続けました。合唱コンクールを通して、声を合わせて歌うことで、心が一つになっていくのは、合唱の力なのだと実感することが出来ました。

三年間を振り返ると、今年度は多くの行事が再開しました。しかし、それは私たちにとっては初めてのものばかりで、先生たちにとっての当り前はこんなに毎日忙しいのかと驚かされました。しかし、行事が終わってみると、「行うことが出来てよかった。」と思うことが出来ました。在校生の皆さん、来年はより多くのことが出来るようになり、もっと忙しくなると思います。その忙しさに疲れてしまったときは、どうすることもできなかった休校期間を思い出してほしいと思います。そして、前を向いて進み続けてください。

三年間、中学校生活を一番近くで見て支えてくださった先生方、ありがとうございました。そして、日々の生活を支えてくれた両親。悩みがあるときは、自分がしたいことを選んでよいと背中を押してくれました。そんな両親に感謝の気持ちでいっぱいです。今までありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。

今はまだ迷ってしまうこともあると思いますが、私たちは自分たちの目標に向かってしっかりと羽ばたいていきます。どうか見守っててください。

最後になりますが、今まで私たちを支えてくださった全ての方に感謝の気持ちを込めて、これを別れの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。